日本透析医会研修セミナー

熊本開催

透析医療における Current Topics 2019

――透析医療は‥此処まで来て‥何を抱えて‥何処を目指すのか

開催日 2019年11月3日(日)
9時00分～15時10分

会　場 ホテル日航熊本（熊本市）

■プログラム■

透析装置の進歩と課題
● 山下芳久（埼玉医科大学保健医療学部臨床工学科）

透析症例の冠動脈疾患－非透析例との相違－
● 伊苅裕二（東海大学医学部内科学系循環器内科学）

透析患者における亜鉛と銅の役割
● 永野伸郎（日高病院腎臓病治療センター）

透析医療と診療看護師制度（認定制度との関係）
● 佐藤久光（増子記念病院）

透析医療と災害－熊本地震の経験から－
● 久木山厚子（宇土中央クリニック）

【ランチョンセミナー】共催：中外製薬株式会社
末期腎不全患者に対する治療展望
－透析・移植からiPS細胞へ－
● 西中村隆一（熊本大学発生医学研究所）

会　費 2,000円

定　員 300名　※定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。

参加申込
・日本透析医会ホームページからの事前参加申込制となります。
・申込受付開始：2019年9月2日（月）予定
・日本透析医会会員以外の方もご参加いただけます。

単位取得について
①一般社団法人日本透析医学会の専門医制度（3単位）
②6学会合同認定「慢性腎臓病療養指導看護師」の受験資格ポイント（6ポイント）
③透析療法合同専門委員会「透析技術認定士」認定更新点数（5点）

問合わせ先 公益社団法人日本透析医会　事務局
〒101-0041　東京都千代田区神田須田町1-15-2 淡路建物ビル2階
TEL：03-3255-6471　FAX：03-3255-6474
E-mail：info@touseki-ikai.or.jp
URL：http://www.touseki-ikai.or.jp

日本透析医会研修セミナー

透析医療における Current Topics 2019（熊本開催）

「透析医療は‥此処まで来て‥何を抱えて‥何処を目指すのか」

日　時　令和元年 11 月 3 日（日）9：00～15：10

場　所　ホテル日航熊本（熊本市）

公益社団法人　　日本透析医会

開催にあたって

本年は東日本大震災から8年目を迎えた。被災地は復旧が進んだ所もあるが、未だに大幅に遅れているところもある。外見上の復旧の陰で、地域社会の復旧には未だに多くの困難が存在している様である。先ずは一刻も速く、真の復旧が迎えられることを希望したい。その様な中で、2016年4月には、またこの度のセミナー開催地である熊本県および隣接の大分県が大きな地震（熊本地震：最大震度6強）に見舞われた。更には2018年9月には北海道胆振東部地震（最大震度7）が発生し、北海道全土が大停電（black out）に襲われた。いずれの地震でも人命・家屋・道路・インフラに大きな被害があったが、被災者の皆様の日常生活の復活が速いことを祈りたい。その様な中でも、透析患者の治療の確保・継続に奔走された現地の医療スタッフの方々の努力に改めて敬意を表したい。

衆知の如く日本透析医会は春と秋2回の研修セミナーを実施しており、春期のセミナーは、日本透析医会の定期総会（東京）と同時開催で行っている。また、秋期のセミナーは、東京を離れて、地方での開催を行っており、この度は漸く熊本市での開催となった。

研修委員会では、今回もCurrent Topicsの姿勢を失わずに、話題性が高く、尚且つ日常の現場で役立つもの、更には透析を含む我が国の医療のこれからの流れを見据える様なもの……を考慮したテーマを選択した。また、そのテーマに相応しい演者の選定・依頼を行い、今回も参加の皆様には十分にご堪能頂けるものとなったと自負している。

このセミナーは、所謂学会や研究会ではないので、素朴な疑問を投げ掛けるも良し、演者と異なる見解を主張するも良し、自由闊達な討論もお構い無しである……ことを強調しておきたい。但し、決められた時間スケジュールだけは守って戴きたい。

前述の如く熊本地震から3年半が経過したばかりで、ご当地は未だ復旧の途上でありましょうが、その様な中での熊本県透析医会の諸先生方の多大なご協力に心から感謝を申しあげたい。

研修委員会委員長　鈴 木 正 司

日本透析医会研修セミナー
透析医療における Current Topics 2019（熊本開催）

「透析医療は‥此処まで来て‥何を抱えて‥何処を目指すのか」

9：00－ 9：10	開会の挨拶	日本透析医会会長	秋澤　忠男
	趣旨説明	研修委員会委員長	鈴木　正司
9：10－10：05	**「透析装置の進歩と課題」**		
		埼玉医科大学保健医療学部臨床工学科	山下　芳久
		司会：甲田内科クリニック	甲田　　豊
10：05－11：00	**「透析症例の冠動脈疾患 ―非透析例との相違―」**		
		東海大学医学部附属病院循環器内科	伊苅　裕二
		司会：伊丹腎クリニック	伊丹　儀友
11：00－11：55	**「透析患者における亜鉛と銅の役割」**		
		日高病院腎臓病治療センター	永野　伸郎
		司会：東京ネクスト内科・透析クリニック	秋葉　　隆

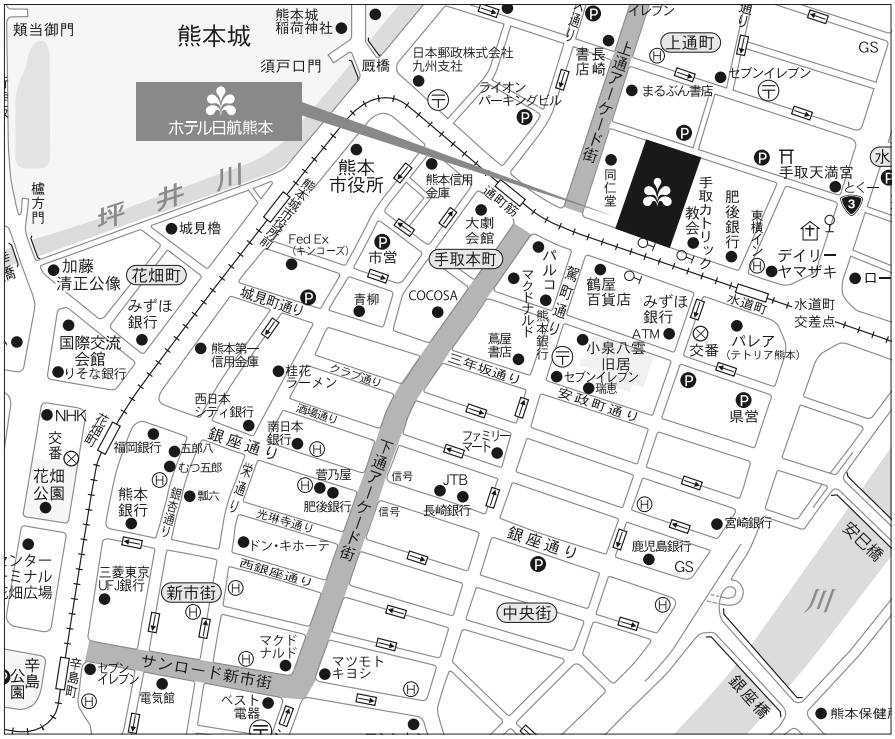
11：55―13：10　昼休み

13：10－14：05	**「透析医療と診療看護師制度（認定制度との関係）」**		
		増子記念病院	佐藤　久光
		司会：JCHO 千葉病院	室谷　典義
14：05－15：00	**「透析医療と災害 ―熊本地震の経験から―」**		
		演者：宇土中央クリニック	久木山厚子
		司会：JCHO 仙台病院	佐藤　壽伸
15：00－15：10	閉会の辞	研修委員会担当理事	宍戸　寛治

12：05－13：00	【ランチョンセミナー】	共催：中外製薬株式会社	
	「末期腎不全患者に対する治療展望 ―透析・移植から iPS 細胞へ―」		
		熊本大学発生医学研究所	西中村隆一
		司会：熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学	向山　政志

参加される方々へ

●参加費　2,000 円
●定員　300 名　※定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
●参加申込
・日本透析医会ホームページからの事前参加申込制となります。
・申込受付開始：令和元年 9 月 2 日（月）予定
・日本透析医会会員以外の方もご参加いただけます。
●単位取得
・一般社団法人日本透析医学会の専門医制度：3 単位
・6 学会合同認定「慢性腎臓病療養指導看護師」受験資格ポイント：6 ポイント
・透析療法合同専門委員会「透析技術認定士」認定更新点数：5 点
●会場案内
・ホテル日航熊本
熊本県熊本市中央区上通町 2-1　TEL：096-211-1111



●問合わせ先
公益社団法人日本透析医会事務局
〒101-0041　東京都千代田区神田須田町 1 丁目 15 番 2 号
淡路建物ビル 2 階
TEL：03-3255-6471　FAX：03-3255-6474　E-mail：info@touseki-ikai.or.jp
URL：http://www.touseki-ikai.or.jp/